

特別賞

森や木に親しもう

芝浦小学校 岩崎 明日香

今、この間にも森林の木々は倒されています。この、五年間で今までの森林の数は六割にまで減っています。なぜ森林は大切なのでしょう。また、それをどうすれば止めることができるのでしょうか。

まず、森林の四つの働きを説明します。一つ目は、水をきれいにする働き。二つ目は、空気をきれいにする働き。三つ目は、森に住む動物の住みかとなる働き。四つ目は私達や動物の食べる木の実をつくる働き。この四つのうち一つもかけてしまうと私達は生きていけません。また、この森林がなくなればどうなるでしょう。水はよごれ、空気はきたなく、動物たちの住みかも、私達が食べる木の実もありません。この状態が続けば、動物や私たち人間も絶滅してしまいかもしれません。

そんなことにしないためにはどうすればよいのでしょうか。

私は身近なところから森林を守ればよいと思います。例えば、コンビニエンスストアでお弁当を買ったとします。その時にもらったおつりを森林を守るためのぼ金にいれる

とか、割りばしをもらわず自分ではしを持っておいてそのはしを使うというように身近な所から森林を守れます。また、植樹をしている所で植樹に参加できればもったいいと思います。

こんな風に身近にできる対策がたくさんあります。森林は伐採されている六割のうち、ほとんどが違法に伐採されています。この違法的な伐採を無くさない限りは伐採はなくなりません。伐採は私達が自分の首をしめるのと同じなのです。今、無くさないと、地球は死の星になるかもしれません。私は、今の地球を死の星にしたくありません。そのためには、ぼ金をしたりという策が有効です。

今まできれいだった水が森林伐採のためにきたない水になり、子供達が病気になったり、家ちくが死んでお金が入らなくなったりして食べ物食べられなくなった人もアフリカやアジアにはたくさんいます。そのような現象の原因は私達の日本のような先進国が森林を伐採して工場を建てたからです。

私はもし、その自分の国の工場が周りの人に迷わくをかけていると知ったらがっかりします。

だから私達といっしょに身近な所から森林を守っていきましよう。森林を守るといことは世界の平和を守るためでもあるのです。